

ふあみさぽ ひるば

地域で子育て支援を行う「那覇市ファミリー・サポート・センター」の活動をご紹介します。広報紙です。



朝のバス待ち時間に父さん(向かって右奥)ファミリーサポート協会の島袋文江さん(向かって左奥)・弟の正士郎くん(手前左)・主人公の浩ちゃんといっしょにパチリ!

浩ちゃんのサポート卒業記念!

當山家は、高校生のお姉ちゃん、特別支援学校に通う浩太郎くん、小学生の弟正士郎くんの3人姉弟と働くご両親の5人家族。ファミサポとは長いお付き合いですが、浩太郎くんがこの3月でファミサポ卒業となるのを機に「ふあみさぽひるば」へのご登場をお願いしたところ、お母さまやサポーターさんから嬉しいメッセージをいただきました。

依頼会員 當山さん

10年以上のサポートに感謝

平成18年(2006年)より今日まで、一時中断はあったものの長期にかけて(10年以上)ファミリーサポートのみなさまの支援を受けました。仕事と家庭の両立の中、朝夕の送迎や、お姉ちゃんの中には夕飯までのサポートも利用し、今日までどうにかやってこられました。子どもの体調をいっしょに心配してくださったり、親への労いのお言葉もいただき、本当に支えられました。急な依頼も多くご迷惑をおかけすることもありましたが、精一杯対応してくださり、たいへん感謝しています。

子どもたちも大きくなり、各々が自分でできるようになった今、ファミサポがあったから出来たと話すこともあります。長期にわたっての支援に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

協力会員 島袋さん



立つのが疲れたら座って待つ。浩ちゃんも文江さんもいつだって自然体(^^)

協力会員 坂本さん

サポーターをして5年が過ぎました。少しでもお手伝い出来たら嬉しいという気持ちと、親御さんに子育てが楽しいと思ってもらえたらという思いで続けています。浩太郎くんとは二年弱のお付き合い。朝、スクールバスに乗るまでのサポートですが、優しい浩ちゃん顔をみて、逆に元気をもらっています。4月から中学生となる浩ちゃんの成長を楽しみにしていますよ!(坂本信子)



ホントはみんなでいっしょに写真に納まりたかったけれど、タイミングがなかなか。でもどうです!3人のこのはじける笑顔! 向かって左がお母さんの當山美奈子さん、右が協力会員の坂本信子さん。

大学生のボランティアさん

笑顔になれる楽しいちょポラ!



ファミサポでは、小さなお客さまには受付カウンター横のおもちゃや絵本が並んだプレイスペース。カウンター前を行き来する方々には、季節の彩りを感じていただきたいと月ごとのイラストパネルを掲示しています。月末になるとどんなパネルにしようかとスタッフで

頭を悩ませています。2月「節分の巻」は那覇市協ボランティアセンターを訪れた沖縄大学学生有志のボランティアさんに制作を手伝ってもらいました。

「見る人が笑顔になれる楽しいちょポラ!」とっても助かりました!またお願いしたいです。



写真左から植屋綾乃、園吉由里香、金城あゆみ、外間克子

依頼会員荒井薫美さんより

ミルクを寄付いただきました!

3月17日木曜日お昼休みの時間帯、ファミリーサポートセンターの依頼会員荒井薫美さんの姿が那覇市協の応接室にありました。3歳(もうすぐ)の双子ちゃんの働くママ荒井さんはファミサポのヘビーユーザー。依頼を通して垣間見える協の活動を、少しでもお手伝いできないものかと日々考えていたのだそうで今回、代表をされる「株式会社セカンド」を通してミルク50缶の寄付を実現してくださいました。お気持ち、うれしいですね!ミルクは、社協支援員や子ども食堂、市民団体などを通じて大切に活用させていただきます。荒井さん、お忙しい仕事の合間を縫っての来所ありがとうございました!



写真左から、ミルクを必要とする家庭を支援する「共育ステーションつむぎ」高良久美子さん・ファミサポ依頼会員の荒井薫美さん 那覇市社協宮城哲哉常務理事・新垣佳子事務局長

協力会員さんへ

エプロン用意しました!

協力会員みなさんにプチ朗報です。託児などのサポートをしていただくとき、エプロン着用をお願いしています。

これまではサポーターさんにそれぞれご準備いただいていたのですが、このたび活動中の協力会員さんへの配布用に、かぶるタイプのエプロンを用意しました。赤ちゃんや小さなお子さんにも親しみも持ってもらえるように、何種類かのキャラクタープリントを選びました。そして、ファミサポくんのロゴ入りです!令和4年新年度から、配布予定です。

モデルはサポーターの山田さんとアドバイザーの園吉。ファミサポくん、いかががございましょう?



ご利用をお手伝い!

アドバイザーの4人です!

毎日のように新しく登録に来所されるママやパパ。入会の案内、ファミサポの紹介をする私たちアドバイザーは、「サポートは、仕事として依頼するのではなく、子育てで困っている人たちの手助けを、時間に都合のつく方が受けてくれます。依頼する側も打診される側も、お互いさまの気持ちを忘れないでいただきたいのです」とお伝えしています。そして、依頼を初めてされるときには、入会のときにお渡しした「会員利用の手引き」をもう一度おさらいしてみてくださいをお願いしています。手引きの中で気になることがあったら、気軽に問い合わせてください。

依頼会員のご紹介

あきと
長男安希士くん(生後7ヶ月)の育児休暇中のママ、松堂菜奈さん。
ファミサポの利用はかすり
紺紬里ちゃん(6歳)、ひより
妃菜ちゃん(3歳)姉妹の保育園
への送迎、最近ではコロナ禍での保育園の自粛や休園等による姉妹の
預かり依頼です。この日は公園遊びの予定でしたが、お天気が悪く
場所を変更して自宅近くの児童館へ行くことにしました。「シルバニア
ファミリーであそぶのー」とサポーターの松原時子さんと手をつないで
ニコニコと話す二人に、松原さんも「そうしようね」と優しい笑顔。
松原さんと松堂家は、次女妃菜ちゃんが生まれて数か月から
のお付き合いで3年ほどになります。「コロナで家にこもることが
増えたので時々連れ出してもらって、私も子どもたちもリフレッシュ
させてもらってます」と松堂さんは快く取材に応じてくれました。
限られた時間のサポートですが、家族を温かく見守る存在として、
松堂家からとても頼りにされている松原さんなのでした。



松原さんのお迎えを待ち構えていた紺紬里ちゃん(6歳)と妃菜ちゃん(3歳)姉妹。安希士(生後7ヶ月)くんはママとお留守番。「保育園のお休みに、二人とも元気が有り余ってるんです。松原さんに連れ出していただいて、本当に助かってます!」と菜奈さん



お待たせの児童館!小学生がいない朝のうちはシルバニアファミリーを独りで遊んで二人とも喜びました。



お利口な姉妹は、お利口な妹ちゃんも可愛いです。

新規依頼会員ご紹介 先輩ママからのおすすめ!

2月上旬穏やかなお天気の午後、ファミサポに来所された眞榮城さんご一家です。
4月からのママの職場復帰と合わせて結環ちゃん(1歳)は保育園通いがスタート。
先輩ママから「いざという時のために登録しておいたほうがいいよ!」と勧められたのだそうで、ご家族3人快く撮影に応じてくださいました。眞榮城家の新たなステージ、ファミサポも応援しています!



沖縄県ファミリーサポートセンター アドバイザー・援助を行う会員研修会

令和3年11月22日、12月13日、18日、令和4年2月4日の4回に渡り『沖縄県ファミリーサポートセンターアドバイザー・援助を行う会員研修会』が開催されました。今回は会場受講とオンライン受講の二本立て。各専門分野の講師の方々に、わかりやすく教えていただきました。また、「コロナ禍におけるサポートの課題」をはじめ、「多様化するサポート内容にどう対応するべきか?」など日々直面している問題についても、センターの事例を交えながら真剣な情報交換が行われました。ファミリーサポートセンターの多くは市町村単位で運営されていますが、ここ数年のコロナ禍での開催は、離島・遠方からの参加の自粛や日程変更、フィールドワークを控えるなど、カリキュラムにも残念な影響が続いています。



令和3年12月18日(土)南風原町の小児保健センターでの第2回目。参加した那覇市ファミサポの協力会員とスタッフ

保育サービス講習会

ファミサポは、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子育てをしている保護者が依頼会員、センターが指定する講習会を修了した方が協力会員。講習会は年2回、子育ての復習も込めて様々な講師の方々から4日間(24時間)学びます。コロナの影響で令和4年2月の講習会は直前で中止になり、昨年度、今年度も1年に1回の開催に留まりましたが、「子育ての手助けをしたい」助け合いの思いは健在!協力会員のみなさんに支えられて、サポート活動は続いていきます。



7月の講習会を修了されたみなさんと那覇市社協職員。



「救急救命」今回は乳幼児を想定した実習を実施。

児童館での保育実習

サブリーダーさんご紹介

サブリーダーとは・・・お世話係として協力会員の中から推薦で選出され、アドバイザーとの連絡調整や協力会員さんのまとめ役などをお願いしています。サブリーダーを中心に協力会員のフォローアップ研修や情報交換の機会となるのが、月に一度開催される定例会ですが、この数年は残念ながら十分な開催ができていません。

青島エリア 上地 和子さん

サポーターになって8年になります。少しでも質のいいお手助けができればと活動を始め、実感を覚えました。コロナ禍です。この間コロナもあり、活動に制約を余儀なくされているのでサブリーダーの役目もありできていますが、これからは初めから頑張りたいと思います。

小塚エリア 片倉 道代さん

コロナということもあり、交流する場がなかなか持てませんが、もっとサポーター同士で話せる機会を作りたいと思います。

青島エリア 松原 時子さん

一年以上ファミサポ定例会が無く、協力会員に会っていません。今年は会いたいです。最近では、サポートも増えて忙しくなってきました。依頼会員さま、今年もよろしくお願ひします。

那覇エリア 高江洲 裕美代さん

みなさま こんにちは。ファミリーサポートで協力会員として活動しております高江洲と申します。サポートを通じて、ことごとからたご家庭を助けています。コロナの影響でなかなかお会いすることができません。一日も早く、コロナが終息してお会いできることを楽しみにしております。

小塚エリア 萩堂 蘭子さん

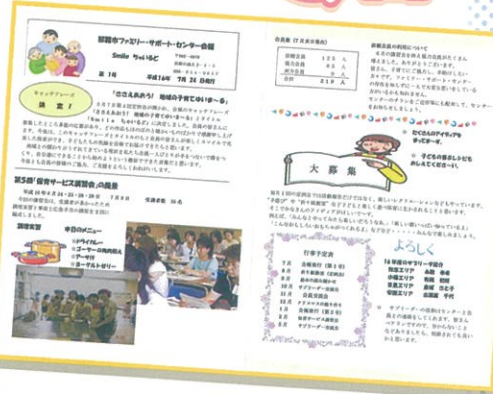
サブリーダーとしての役目、ちゃんとできているか自信ないですが、定例会で情報交換させていただいて、学ぶことも多いです。

那覇エリア 鳥袋 文江さん

私がファミサポ活動始めた頃、学校のサポートをしていた一年生がこの春卒業を迎えファミサポからも卒業します。ほんの一瞬ではありますが、定例会で情報交換をしながらお世話になってます。きっと一歩だけのお依頼も、頼られることになることと想定しています。そして、サポーター仲間やコーディネーターのみなさんと、ますます積極的なつながりを深めたいです。

ファミサポの数字 今昔

右側に紹介している会報写真、ご覧いただけますか?18年前、平成16年7月24日発行の那覇市ファミサポ会報紙第1号です!講習会の参加者数や会員数、行事予定など当時の雰囲気が伺えますね。



2022年現在は約3,000人の登録会員がいて、その10%が協力会員ですが、実際サポーターとして活動くださっている方は協力会員の30%ほどです。

